

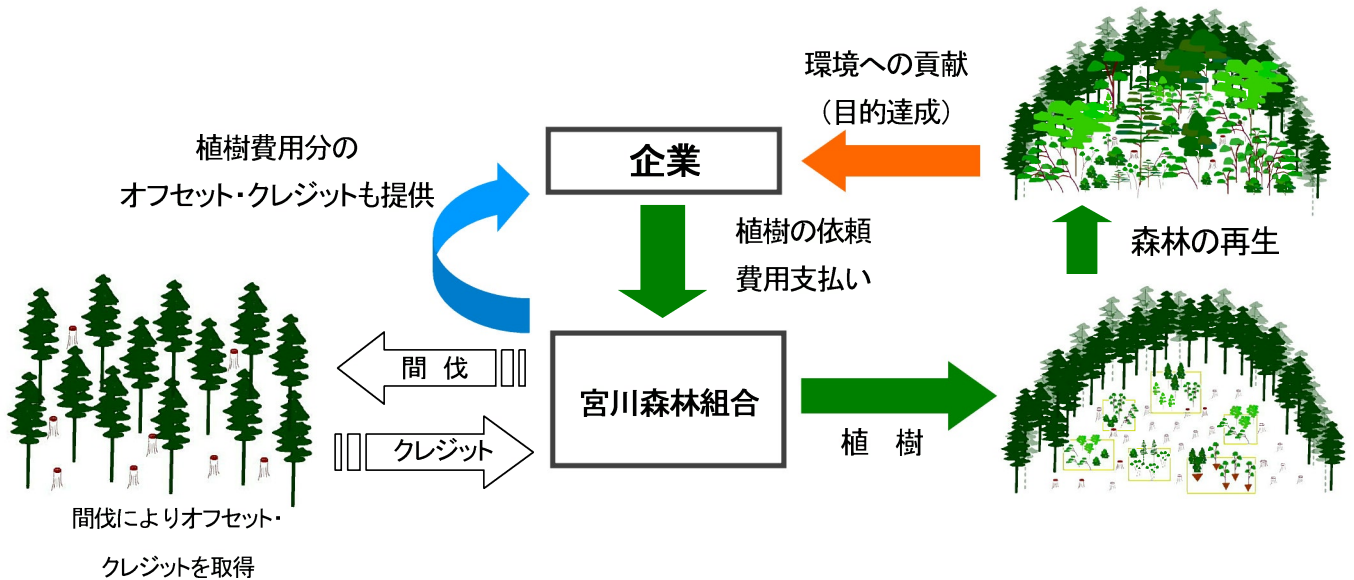
# 新しい植樹を提案します Duplex 植樹

私たち宮川森林組合は、J-VER 制度を活用した『オフセット・クレジット』と『森づくり』を組み合わせ、これまでにはない全く新しい『duplex 植樹』を提案します。

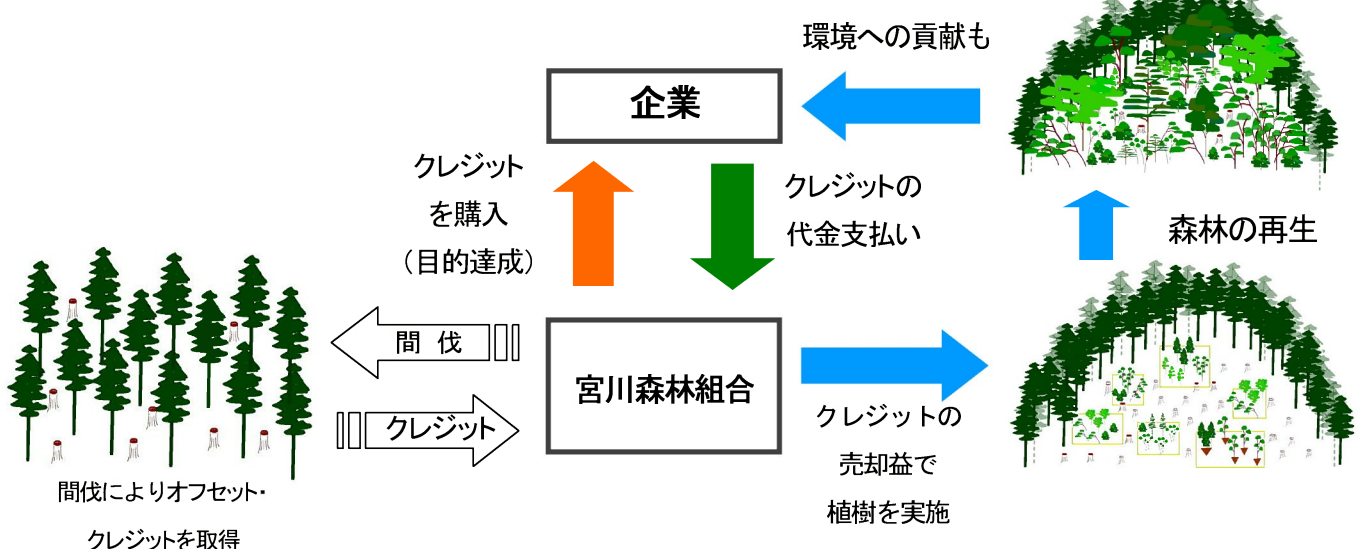
宮川森林組合は、2011年4月にJ-VER制度の認証を受け、5,287t-CO<sub>2</sub>のオフセット・クレジット発行を受けました。今後2年間で5,338t-CO<sub>2</sub>のクレジットが発行される見込みで、合計10,000t-CO<sub>2</sub>あまりのクレジットを得る予定です。

『duplex 植樹』は、1つの投資で2つの効果が得られる植樹です。契約のパターンは2つあります。

1. 植樹をすると、同時に植樹費用相当額のカーボン・オフセット・クレジットが得られます。



2. カーボン・オフセット・クレジットを購入することで、同時にクレジット資金相当額の植樹が行われます。植樹に対する新たな出費はありません。



★ 間伐費用は、全額が公費で補助されているので、ご負担いただく必要はありません。

## 【 宮川森林組合は広葉樹の森づくりのプロフェッショナルです 】

広葉樹は樹種が多く、土壌や斜面の方角、水分の寡多などにより最適な樹種が異なるため、人工的に森を創ることは極めて難しいという問題があります。そのため、日本でも広葉樹植樹を行える森林組合はきわめて限られています。

宮川森林組合は、作り上げたい森の姿から逆算して、最初に植える樹種や配置など森のあり様を設計し、広葉樹の森を作っていきます。私たちは、広葉樹の森づくりのプロフェッショナルです。

## 【 森づくりの特徴 】

### A. 広葉樹を中心とした多様性の高い森づくりを行っています

延べ 12 ヘクタールに、110 種類の樹種を植樹しています。

針葉樹が大半を占める大台町の森林に、多様な樹木が再び生育するための核となる場所を提供しました。将来的には、ここから鳥や小動物、風などにより周囲の森林に種子が散布されることで、森の自然更新の役に立つものと考えています。

### B. 苗木には地域性苗木を使用しています

地域生態系を保全するため、できるだけこの地方で産出された苗木を使用しています。

一般に地域性苗木の流通は少ないため、宮川森林組合が指導を行う「大台町苗木生産協議会」で種苗生産を行っています。

### C. シカ害対策として、小規模な区画をフェンスで囲うパッチディフェンスを採用しています

中部地方一帯は、シカによる植物の食害が激しい地域です。

従来の大区画をフェンスで囲う方法はシカが入り込みやすいため、「パッチディフェンス」という新しい方法を採用しています。パッチディフェンスは最大 150 m<sup>2</sup>程度の狭い区画をフェンスで囲むため、シカの侵入が極めて少ないという特長があり、良好な実績をあげています。

## 【 広葉樹の森づくりの実例 】



H19 (秋) 植樹直後



H23 (春) 4 年後の姿

